

いしいのみらい



太陽と緑の環境都市 いしい



大東建託「いい部屋ネット
街の住みこちランキング
2020徳島県版」

Concept Book



緑濃い四国山地と水清らかな吉野川

豊かな自然に恵まれた地に

日々をやさしい気持ちで送ることのできるまちがあります。

明るい未来に照らされた

愛と誠のある暮らしをつづります。

いしいのみらい

Contents

石井町アーカイブ	2
みんなどう思ってる? 石井町のこと	12
将来ビジョン だから今! みんなでつくる いしいのみらい	14
重点目標1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進	16
重点目標2 暮らしやすい生活環境の形成	18
重点目標3 産業の振興と雇用の場の創出	20
インタビュー わたしのみらい	22
基本目標1 互いに支え合う、人と地域が輝くまちづくり	24
基本目標2 自然と調和した安全・安心な環境都市	26
基本目標3 住民とともにつくる協働のまちづくり	28
ワークショップ みんなで考えた いしいのみらい	30
石井町へのアクセス	32

吉野川に育まれた藤香るまち ゆったりとした時間が流れています。

恵みの宝庫である一級河川・吉野川。
石井町はその潤いに満ちあふれ
豊かな土壌のもとに栄えてきたまちです。
自然、歴史、人々の暮らしの一つひとつが
悠々とした時を刻んでいるかのようです。

河口から約14kmの上流、石井町
と上板町の間にある吉野川第十
堰。江戸時代、農業用水を確保す
るために造られたもので、上水道
の水源地となっています。



02



03

吉野川に数多く架かる
潜水橋は昔なつかしい
風景で、石井町藍畑に
ある高瀬橋もその一つ。
住民の日常に溶け込ん
だ大切な橋となってい
ます。





人の背よりも高くから花が下がる童学寺の藤

住む人、訪れる人を笑顔にする 藤の花があふれています。

藤は石井町の花に指定され、
200年以上も前から人々に愛されてきました。
見頃となる4月下旬には
その花言葉の通り、
「やさしさ」や「歓迎」の彩りに染まります。



写真上／徳蔵寺。境内には紫藤や
八重咲きの藤が咲き誇ります。
写真下／飯尾川公園。全長約400m
にわたる藤棚は、シーズンには藤の
花のトンネルになり、みんなの散歩
コースになっています。



写真は地福寺。境内には紫藤と白
藤の藤棚があり、4月下旬から5月
中旬にかけてが見頃で、青い空と
のコントラストが美しく映ります。



田中家住宅／寛永年間から代々続いた豪商の家。茅葺きの屋根や藍寝床、地元産の青石で築かれた石垣など、豪商の全盛期を彷彿とさせる規模と造りが特徴です。

地域の伝統や文化が 日本遺産に選ばれました。

阿波の北方と呼ばれる吉野川流域は日本一の藍染料の産地で、藍染文化を支えている藍の里です。石井町を含む県内9市町の阿波藍のストーリーが日本遺産^{*}に認定されました。



JAPAN HERITAGE
日本遺産

※石井町の構成要素

- 田中家住宅
- 武知家住宅
- 藍農工作之風景略図
- 元木家文書「加登屋日記」
- 武知家文書
- 林家文書
- 高橋家文書
- 阿波藍製造



写真左／夫木和歌抄で美しさが詠まれた池跡にまつわる、桜間の池跡・石碑。
写真右／石川神社境内にある、様々な様式で造られた市楽の板碑群。

写真左／天満神社に立つ天神のイチョウは、古くから神木として崇められています。
写真右上／新宮本宮神社境内に立つ矢神のイチョウは、県下で5番目に太い幹周を誇ります。
写真右下／王子神社の大クスは推定樹齢約800年。「長寿のクス」と呼ばれています。



武知家住宅／1726年の初代から現在まで藍染料を製造・販売する藍師・藍商の家です。県産の青石を積み上げた高石垣と主屋の周りを寝床や倉がぐるりと取り囲む藍屋敷独特の構えを備えます。



すてきな色と香りに包まれて 人にやさしくなれるまちです。

石井町には桜のスポットも多くあります。
いつの時代も、誰のもとにも等しく
その姿を見せてくれる桜。
命ははかなく平等なもの、という精神が
見る人の心を美しく染めていきます。



08

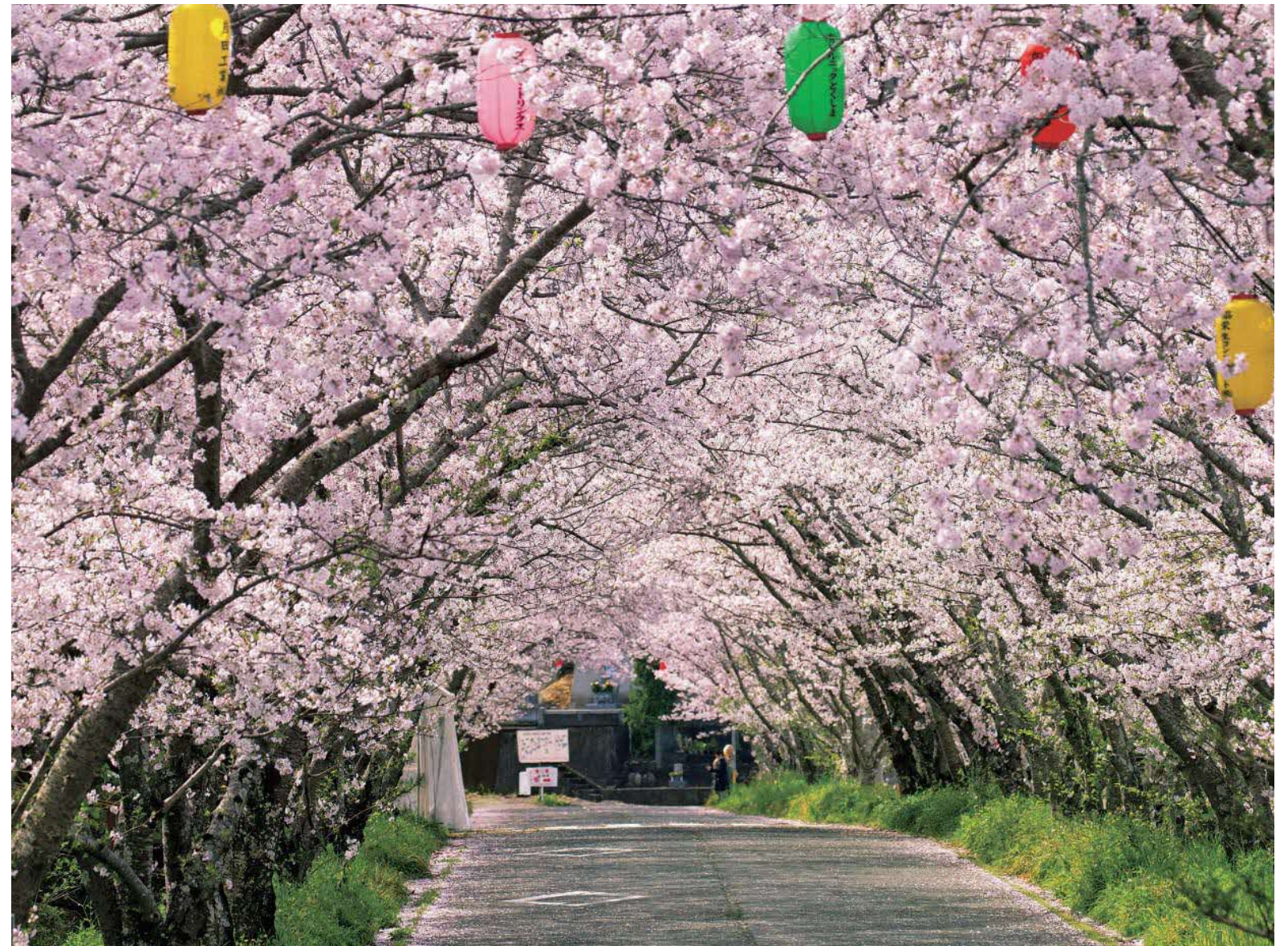
前山公園／前山公園から前山林道を通り、頂上の「地藏峠」まで約1.3kmの桜並木が続きます。「健康とやすらぎの町づくり」の一環として整備された公園です。



天堂のしだれ桜／中国風の鐘楼門が目印の森本院の境内にある桜。優美な枝をしな寄せたしだれ桜が有名です。

桜並木通り／「徳島大学生物資源産業学部(旧農大)の桜のトンネル」は県内有数の人気スポット。約160本のソメイヨシノや山桜が約200mも連なる見事なトンネルです。

09





誰もが笑顔になれる 未来が明るいまちです。

住む人のはつらつとした笑顔があれば
きっとそこは住みやすく、
安心して、健やかに暮らせるまちのはず。
石井町はただそんな想いを重ね
まちづくりを続けています。

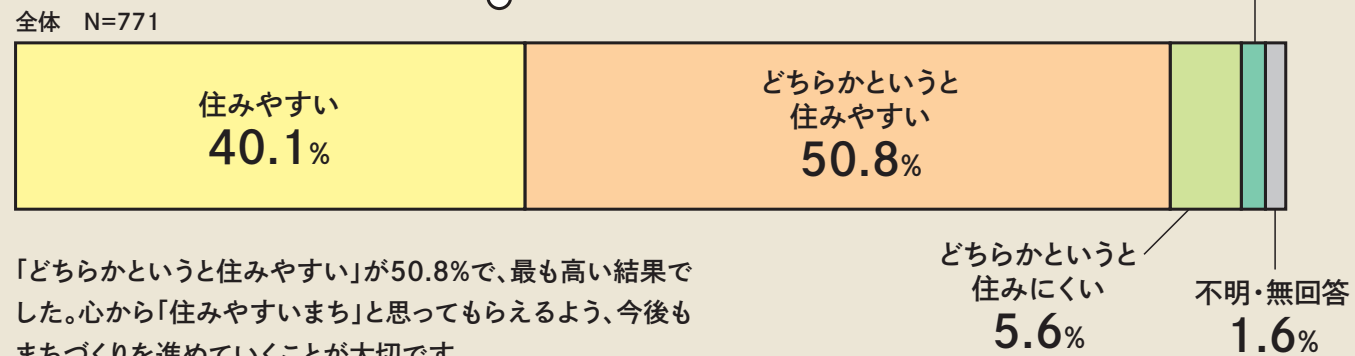


みんなどう思ってる？ 石井町のこと



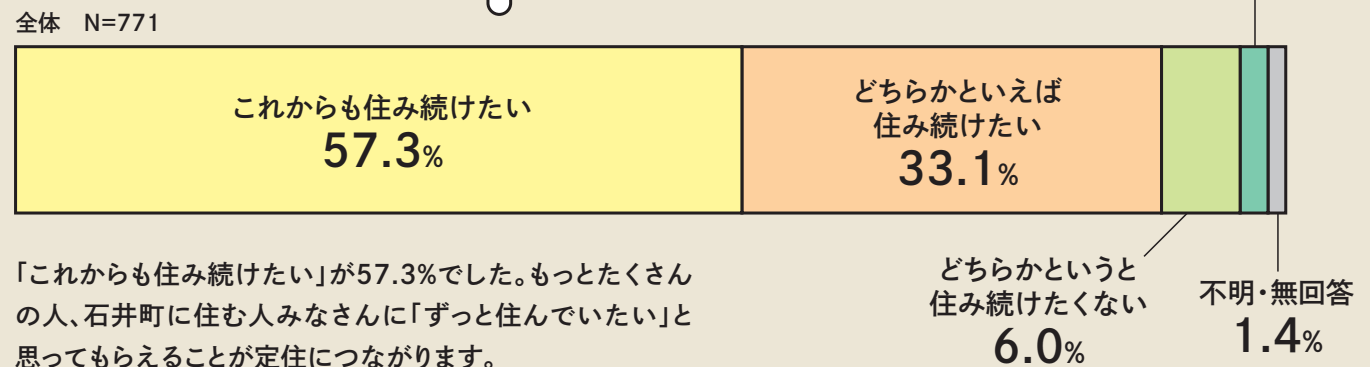
たくさんある石井町の魅力ですが
住民のみなさんはどう思っているのでしょうか。
様々な人に石井町のことを聞きました。
もっと魅力的な
まちの未来のことを考えるために。

石井町はどれくらい住みやすい？



「どちらかというに住みやすい」が50.8%で、最も高い結果でした。心から「住みやすいまち」と思ってもらえるよう、今後もまちづくりを進めていくことが大切です。

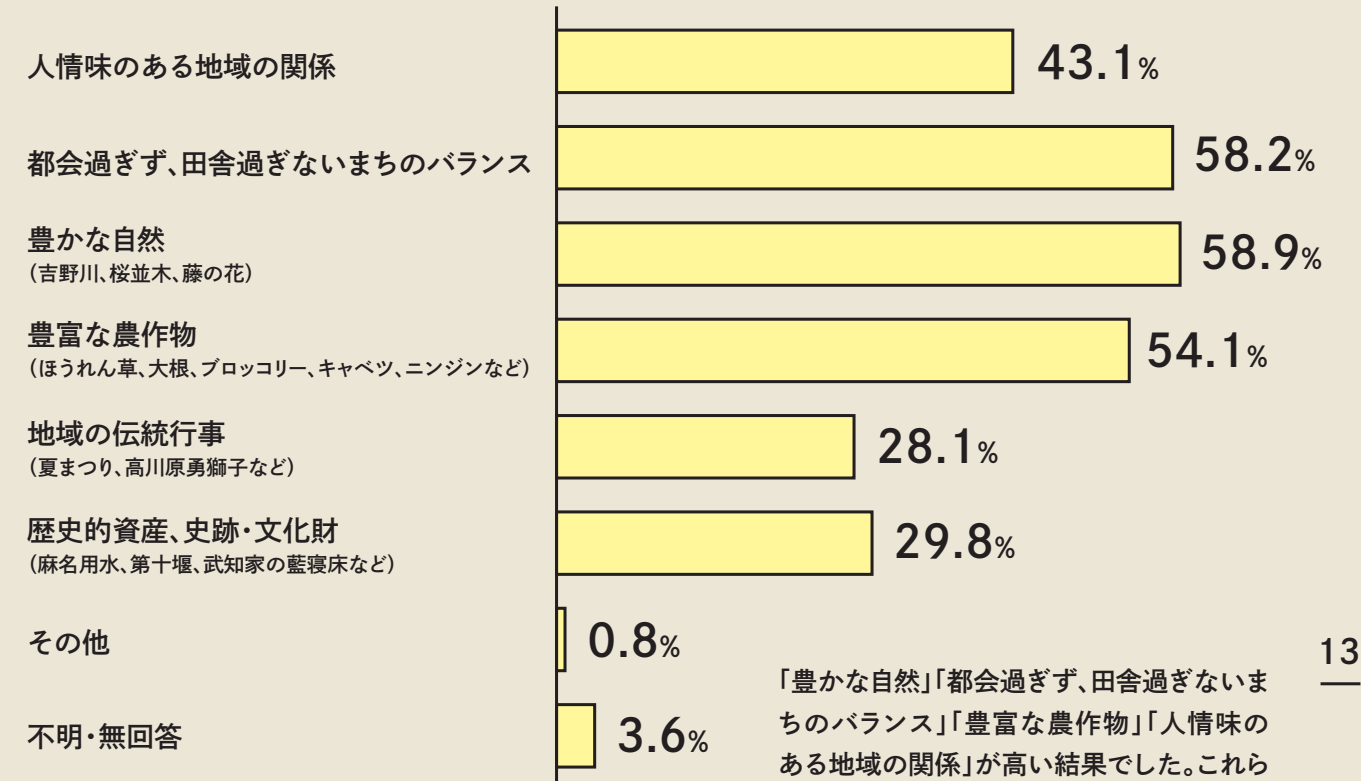
これからも住み続けたい？



「これからも住み続けたい」が57.3%でした。もっとたくさんの人、石井町に住む人みなさんに「ずっと住んでいたい」と思ってもらえることが定住につながります。

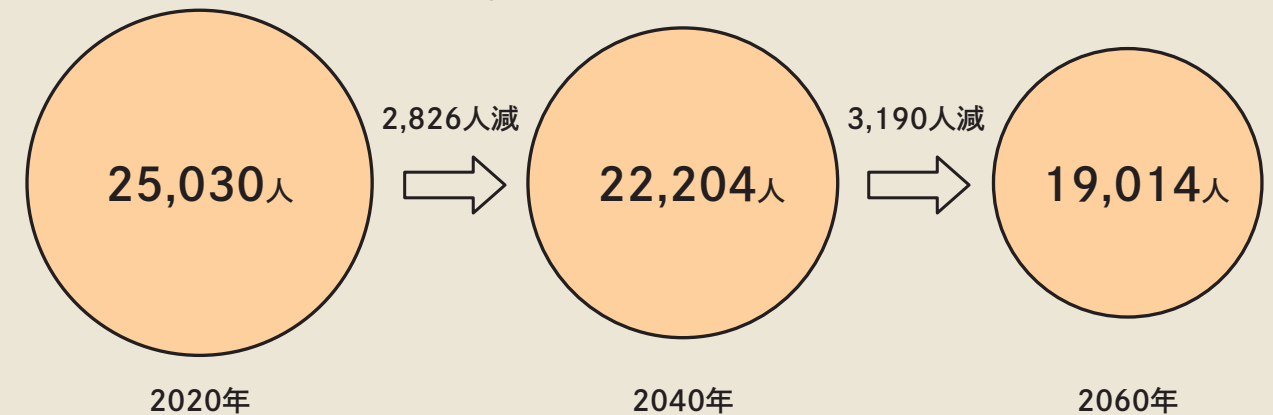
次の世代に伝えたいところは？

全体 N=771



「豊かな自然」「都会過ぎず、田舎過ぎないまちのバランス」「豊富な農作物」「人情味のある地域の関係」が高い結果でした。これらはみな古くから培われてきたものです。

これから先、住む人はどうなる？



だから今! みんなで作る いいの未来

もっと知ってほしい、石井町のこと。
そして、みなさんとつくっていききたい
石井町の未来。
そんな想いをカタチにしたのが
第五次石井町総合発展計画です。

将来ビジョン

太陽と緑の環境都市 いい

石井町が「住みたいまち」「住み続けたいまち」そして「訪れたいまち」となるためには、快適に、かつ、安全に安心して暮らせるまちであることが重要です。誰もが笑顔になれる、人にやさしいまち、人にやさしくなれるまちであり続けることを願い、「太陽と緑の環境都市 いい」を将来ビジョンに、未来が明るいまちづくりを進めていきます。

3つの重点目標

重点目標
1

子どもを産み
育てやすい環境と
移住・定住の促進

子育て支援の充実や教育の充実、移住・定住支援に取り組みます。

重点目標
2

暮らしやすい
生活環境の形成

地域基盤の整備や安心・安全の確保、地域コミュニティの形成に取り組みます。

重点目標
3

産業の振興と
雇用の場の創出

新産業の創出や地域産業力の強化、観光・交流産業の振興、人材の確保・育成に取り組みます。

人口減少の克服や地方創生を目的とした「石井町総合戦略」に掲げている目標を第五次石井町総合発展計画の重点目標と位置付け、人口減少の克服や、まちの活力の維持・向上に取り組んでいきます。

3つの基本目標

基本目標
1

互いに支え合う、
人と地域が輝く
まちづくり

健康的な暮らしの推進、高齢者・障がい者福祉の充実、地域の支え合いの推進、子育て環境と教育の充実の4つの施策分野に取り組みます。

基本目標
2

自然と調和した
安全・安心な
環境都市

安全で快適な生活環境の確保、安心した暮らしの実現、安全・安心のまちづくり、環境に配慮したまちづくりの4つの施策分野に取り組みます。

基本目標
3

住民とともに作る
協働のまちづくり

地域産業の活力増進、協働のまちづくりの推進、健全な行政運営、広域行政の推進の4つの施策分野に取り組みます。

将来ビジョンの実現に向けた分野ごとの目標が基本目標です。「住み続けたい」を実現できるまちづくり、安全・安心に暮らせる地域づくり、住民と行政が手を取り合う協働のまちづくりを進めます。



子育て支援の充実(こどもねっといしい)

重点目標

1

子どもを産み 育てやすい環境と 移住・定住の促進

子どもはまちの未来を創造する担い手であるとともに、地域の宝です。石井町ならではの充実した子育て環境に磨きをかけ、情報発信や気軽に相談できる体制づくりなど、子どもとその家族、地域が輝く取組を推進します。また、石井町が全国から選ばれる町であるために、恵まれた自然環境を活かしたまちづくりを推進するとともに、移住希望者や住宅取得希望者の負担軽減を図り、移住・定住を促進します。



健やかな体を育む
幼稚園体力向上巡回指導事業



1歳6か月児・3歳児健康診査事業



空き家バンクを活用したカフェ

子育てしやすい
まちだと思ふ人の割合

84.3%
(平成30年)



外国人英語指導員による英語巡回指導

2

暮らしやすい 生活環境の形成

住民がいつまでも健康な生活を営むことができ、安全で安心した生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉などの各分野の充実を図るとともに、利便性の高い道路環境の整備や、石井町と近隣自治体との連携の強化による社会資本の整備を推進します。また、時代に合った地域コミュニティの再構築を行うことで、今後も住みやすいまちづくりに取り組みます。



子育てサークル活動の支援(みらいフェスタ)



豊かな高齢期を過ごす、石井町藤クラブ体育大会



災害対応力を向上させる防災訓練



地域での防災訓練

「住みやすい」と
答えた人の割合
90.9%
(令和元年)



自然がすぐそばにある住宅環境



農産物品評会

重点目標

3

産業の振興と 雇用の場の創出

石井町の恵まれた地域資源を活用しながら、若者に
的を絞った“しごと”の創出や産業振興を推進すること
により、まちの活力のさらなる向上を図ります。また、付
加価値の高い農産物・加工販売物づくりの推進や農業就
業者への支援を行い、都市部に売り込むことができる
「価値」を創り出す若者を育成・応援します。町出身者
や町外在住の人を対象に総合的な環境整備・起業支
援を行い、新産業の創出を促します。



多くの観光客が訪れる藤まつり



スポーツを通じたレクリエーションイベント



農産物直売所 百姓一

町内事業所従業員

8,459人

(平成28年)



日本遺産の活用による観光振興(写真:田中家住宅)



農産物の販路拡大



「農」に携わる若い人



いしいの藤やさい

わたしのみらい

思い思いのビジョンに描かれた子育てのこと、農業のこと、生活のこと。石井町で実現させたいみなさんの未来を教えてくださいました。

夫婦共働きでも安心して子育てできる環境です

石井町は子育て世代にやさしいまちだと思います。夫婦共働きですが、延長保育や学童保育が充実しているので安心。他にも、幼稚園では長期休業中の昼食提供があったり、医療費の助成が高校生まであったりと、安心して子育てできる施策が整っています。

休日、子どもたちに「どこへ行きたい?」と聞くと、必ず「いいドーム!!」と答えます。広い芝生でドッジボールやサッカー、鬼ごっこなど体いっぱい動かし、遊んでいます。

自然が豊かなのに大型ショッピングセンターや病院、農産物直売所などがそろっていて、とても住みやすい他、スポーツも盛んです。内気だった子どもたちでしたが、ドッジボールやサッカーのクラブに入り、今では体を動かすことが大好きで活発な少年になりました! 子どもたちが大きくなっても、生まれ育った石井町に住んでいたいと思ってくれるようなまちだと本当にうれしいですね。



佐藤さんご家族

祖父母の農業を継ぎ いろんな野菜づくりに 挑戦しています

じつは私、ブロッコリーが苦手だったんですが、自分が育てた新鮮なブロッコリーを食べたときのおいしさに感動しました。就農してすぐの頃、大雨で思うように育てられなかったこともありましたが、収穫できた野菜のおいしさや、友人におすそ分けして喜んでもらえるときは、うれしくてたまりません。

現在は、祖父母が作る大根やカブなどの根菜類と一緒に、ブロッコリーやナス、キュウリなどを作っています。石井町農業後継者クラブに所属し、耕作放棄地に緑肥作物を植えているんですが、そこで感じるのは、農業は横のつながりが大切だということ。先輩方の支援もあり、決して一人ではないということです。

将来は観光農園をしたいと思います。動物が好きなので、ヤギや犬、ウサギなどを飼いながら野菜づくりができればいいな...と。私にとって石井町はちょうどいい田舎。なかなか予約が取れないカフェもあるんですよ。農園に来られた方々に、石井町の良さを教えてあげたいですね。



志摩唯加さん

歴史や自然が豊かな石井町 住み心地一番の環境を 残していきたい

弘さん:約50年近くにわたって石井町消防団の活動を続け、令和2年の春、叙勲をいただくことができました。町をはじめ、支えてくださった団員の方々や家族に感謝しています。

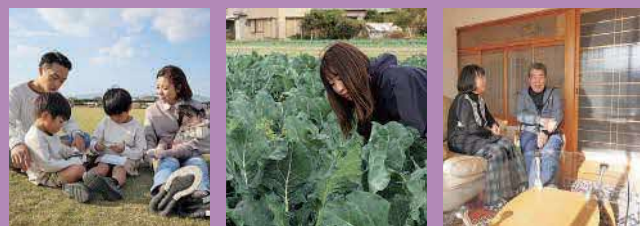
住民の方々や地域に密着しながら活動するのが消防団です。火事が起こればすぐに現場へ。人命第一で活動していました。若い団員には褒めることで技能を高められるよう心がけていました。みんな本当によくがんばっていると思います。

日本遺産に認定された田中家や武知家などの歴史、藍の文化をはじめ、新鮮野菜など、石井町の暮らしやすい環境を子や孫に残していきたい。住み心地No.1にも選ばれましたね。これからも石井町消防団には、そんなまちの住民と地域の安全を守る活動を続けてほしいです。

福美さん:長年の消防団活動、お疲れ様でした。火事の現場に行く夫の姿を見送るのは正直心配でしたが、まちの安全を守る活動を続けてきたことに尊敬しています。これからも毎日のウォーキング、一緒に続けましょうね。



くわむら 栗村さんご夫婦



1 互いに支え合う、人と地域が輝くまちづくり

第五次石井町総合発展計画では、基本計画を推進するにあたり、持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールを意識して推進していきます。

人と人、地域同士がつながってまち全体で支え合う。そんな健やかなまちにしていきたい。健康でつつがなく、住み慣れた地域でいつまでも。

1

健康的な暮らしの推進



住み慣れた地域で安心して生活を続けるためには、心身ともに健康であり続けることが重要です。いつまでも健康でいられるよう、健康づくりの推進や保健・医療・福祉との連携の充実を図り、安心して医療を受けることができる環境づくりを推進します。

施策分野 ●保健 ●医療



子育て世代包括支援センター

2

高齢者・障がい者福祉の充実



支援が必要な高齢者をはじめ、元気な高齢者、障がいのある方に対しても、生きがいや社会参加の機会を提供し、希望する誰もが活躍できる支え合いの地域づくりを進めます。また、認知症や障がいに対する理解や啓発、支援体制の充実により、自立した生活を送ることができるまちづくりを進めます。

施策分野 ●障がい者福祉 ●高齢者福祉・介護



いきいき百歳体操

3

地域の支え合いの推進



住民一人ひとりが地域に関心を持ち、地域でいきいきと暮らしていくことができる福祉社会の形成を目指し、それぞれの地域にふさわしい福祉の仕組みづくりを進めます。また、地域の住民同士がつながり、地域を支える人づくりを推進する他、教育や啓発活動を推進し、住民の人権意識の高揚に努めます。

施策分野 ●地域福祉 ●社会教育・生涯学習・生涯スポーツ ●地域文化・交流 ●青少年健全育成 ●人権 ●社会保障



スポーツ少年団駅伝大会

4

子育て環境と教育の充実



安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備や支援体制の構築に取り組むとともに、子育て世代が孤立せずに子育てができる環境を整備します。次世代を担う子どもたちが、生きる力を育み、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力を養うことができる環境の整備や、特色ある学校づくりを推進します。

施策分野 ●児童福祉 ●幼稚園教育 ●義務教育



みらいフェスタ

2

自然と調和した 安全・安心な環境都市

いつ起こるかわからない自然災害。
便利な暮らしを守りながら
しっかり備えていくことが大切です。
自然と生活の共生、両方そろって初めて
快適な暮らしが生まれます。

1

安全で快適な 生活環境の確保



都市機能を維持し、誰もが暮らしやすい安全で
快適なまちづくりのための基盤整備に努めます。
また、道路・河川等の生活に欠かすことので
きない社会基盤の整備、長寿命化を進め、住民
の安全・安心、快適な生活環境の確保に取り組
みます。

- 施策分野**
- 土地利用
 - 水利用
 - 道路・交通体系



生活の要となる町道

2

安心した暮らしの実現



住宅ストックの活用を図り、住みよいまちづ
りを推進します。また、質の高い安全・安心な水
を安定的に供給する体制の構築を図るととも
に、汚水処理等を適切に行うことで、衛生的な
生活環境を確保します。

- 施策分野**
- 住宅
 - 上水道
 - 下水道・汚水処理
 - 墓地・火葬場



空き家問題解決セミナー

3

安全・安心のまちづくり



地域消防力の充実強化と火災予防対策の推進
に努めるとともに、消防団や防火組織、自主防災
組織との連携を強化し、総合的な消防体制を確
立します。また、防災・減災や交通安全活動、防
犯活動に向けて、住民や地域の自助・共助の取
組を支援し、住民と行政が一体となった安全・安
心のまちづくりを推進します。

- 施策分野**
- 防災・消防
 - 防犯
 - 交通安全



秋の交通安全キャンペーン

4

環境に配慮したまちづくり



豊かな自然を保全するため、ごみの減量化やリ
サイクル率の向上を図り、安定的かつ継続的な
ごみ処理施設の整備に努め、生活雑排水やし
尿の適切処理等、環境に配慮したまちづくりを
推進します。

- 施策分野**
- 環境衛生
 - 公園緑地



環境美化ボランティア

3

基本目標

住民とともにつくる協働のまちづくり

住民とともに、役場とともに、一人ひとりの一生懸命な気持ちが石井町というまちをもっと大きく、強くあたたかくしていきます。

1

地域産業の活力増進



主幹産業である農業の推進にあたって、優良農地の保全と農業の生産性を高めるための基盤整備を推進するとともに、農業の担い手づくりや付加価値の創出を図ります。また、商店関係者の意識改革や店舗・経営の改善、大型店との差別化など、商工業に携わる方々の自助努力を促すとともに町の施策を商工業者・団体と行政とが協働して進め、官民一体となって商工業の活性化を図ります。

施策分野 ●農業 ●工業 ●商業・観光



高川原工業地域

2

協働のまちづくりの推進



本町が抱える課題や情報を行政と民間で共有し、地域の需要を正確に把握して課題解決に向けた取組が重要となります。住民と行政、事業者等がそれぞれの役割を明確にしながら、主体的に取り組める体制を整えることで、協働のまちづくりを推進します。また、満足度No.1に選ばれた住み心地の良さ*を強みとし、移住・定住に関する情報発信を行い、新たな人の流れの創出を図ります。

*大東建託「いい部屋ネット 街の住みこころランキング2020徳島県版」

施策分野 ●住民参画 ●コミュニティ・ボランティア



移住・定住の促進

3

健全な行政運営



多様な住民ニーズに柔軟かつ的確に対応する実効力のある行政執行ができるよう、各役職段階別に研修や専門研修を織り交ぜ、総合的な研修体系を構築し、個々の知識や能力を最大限発揮することができる人材の育成を図ります。

施策分野 ●行政運営 ●財政運営



窓口業務

4

広域行政の推進



本町は徳島市のベッドタウンとして発展し、自然豊かな土地と都市部へのアクセスの良さを活かしたまちづくりを推進してきました。これからのまちづくりを推進するにあたっては、徳島県東部圏域をはじめとする近隣市町村との行政間交流や住民交流、経済交流を深め、広域連携によるスケールメリットを活かした効果的かつ効率的な事業を展開し、持続可能な地域づくりを推進します。

施策分野 ●広域行政



益城町との災害時における相互応援に関する協定締結

みんなで考えた いいの未来

自分たちの“未来”を築く舞台として
石井町はどんなまちになってほしい？
総合発展計画の策定にあたり
中学生を対象としたワークショップを実施。
石井町の10年後の姿を話し合いました。



シンボルの
多いまち

藤の花が
咲き乱れて、
活気のあるまち



外国の方と共生した
多様性のあるまち

桜や藤がきれい

子育て世代も高齢者、
障がい者など、誰もが楽しく、
住みやすいまち

スポーツ施設が
充実

いいの藤やさいを
もっとPRしたい

住みやすい

藤をもっと
有名にしたい

資源の再利用化で
きれいなまちに

子育てがしやすい・
やさしい

学校の教育内容が
充実している

人がやさしい

おしゃれで
きれいなまち



石井町へのアクセス



32

JR徳島駅	JR徳島線 約20分 車・バス	石井町
徳島自動車道 土成IC・藍住IC	車 約20分	
高松自動車道 板野IC	車 約30分	
徳島阿波おどり空港	車 約45分	



- 高速道路
- - -○- - - JR
- 国道

太陽と緑の環境都市 いい

まぶしいほどにきらめく水の流れと

豊かな実りがなびく田畑の緑。

季節が移ろえば

人々の心をふと穏やかにしてくれる藤の花。

そんな風景に太陽があたたかく光を与え

緑がやさしく輝きます。

大切な人が住んでいるからこそ

尊い自然が豊富だからこそ

太陽と緑の環境都市としての誇りを胸に

これからも歩いていきます。



誰もが笑顔になれる、
人にやさしいまち、
人にやさしくなれるまちをめざして。

発行:石井町役場
〒779-3295 徳島県名西郡石井町高川原字高川原121-1
電話:088-674-1111(代表)
FAX:088-675-1500